

第5回王寺町総合計画審議会(兼 総合戦略懇話会) 会議録

日 時	令和5年3月27日(月) 14:00~15:40
場 所	やわらぎ会館 3階 小会議室2
出席者	<p>委 員 中川幾郎会長(帝塚山大学名誉教授)          (順不同) 直田春夫会長職務代理(NPO政策研究所理事長)          中川義弘委員(王寺町議会議長)          北村達夫委員(王寺町議会議員)          井村知次委員(王寺町自治連合会会長)          黒田ゆかり委員(王寺町社会福祉協議会理事)          佐野純子委員(王寺町観光協会アドバイザー)          長岡雅美委員(奈良テレビ放送株式会社代表取締役社長)          東中有紀委員(王寺町教育委員)          平岡秀隆委員(王寺町副町長)          池田満津子委員(町民公募)          横山奉典委員( )</p> <p>事 務 局 幸田総務部長、吉田政策推進課長、酒田総合戦略係長          (株)総合計画機構 今井氏、春田氏</p> <p>傍 聴 者 なし</p>
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住民アンケート調査結果について</li> <li>2. 地方版総合計画の改定について</li> <li>3. その他</li> </ol>
<p>1. 住民アンケート調査結果について          資料1により事務局より説明。          住民アンケート集計【自由記述】のみ委員に当日配布</p>	
<p>(委員からの住民アンケート調査結果に対する意見)</p>	
委 員	<p>住民アンケート集計【自由記述】は、当日ではなく、事前に配布してもらいたかった。</p> <p>自由記述について、多い意見はもちろんのこと、少ない意見も内容によっては考慮する必要がある。</p> <p>自治会に対する不満の意見については、自治連合会長の立場として責任を感じているところ。</p> <p>また、「地域のリーダーの必要性」に関する記述も多く、現在の町をよく見ていただいていると感じた。</p> <p>現在、町民ワークショップなど、まちづくり協議会設置に向けて、住民意見をいろいろ聞いているが、地域のリーダーの育成はもとよりリーダー</p>

を発掘していく必要がある。

自治会にあまり興味を持っていない方、地域の活動にあまり興味を持っていない方に対して、地域自治の重要性を知っていただけるような会やイベントをやっていかないといけないと思っている。

委員

集計の中で、前回調査との対比は、わかりやすくて良かった。

協働のまちづくりの推進の項目で、60代、70代になると、「推進すべきだ」という人数が減って来る。地域づくりに何か共同作業に「参加しなければいけないかな」と思いながら、やはり体力的なこととかで、なかなか実際には自分自身が動きにくくなってくるのではないかな。

協働については、災害対応など、いろいろな人の助け合いにつながってくると思うので、そのあたりもうまく関連付けて進めていただけたらありがたいと思う。

委員

満足度・重要度のスコア分類の表について、前回調査や前々回調査と比べると、全体的に重要度と共に満足度も上昇しているので、町が進んでいる方向に間違いはないであろうと思う。

これは総合計画なので総花的になるが、全部できればそれに越したことはないが、財政的に難しいので、重点項目を見極める必要がある。

重点的な項目について、だいたい満足度は上がっていると思うが、町として力を入れたことについて、どういう結果が出ているのか。アンケートの意見だけでなく、具体的な数値でこうなったというデータも欲しいと思う。

自由意見については、書かれていることを全部できるのかというと、なかなか難しい。この中で取捨選択をして町としてどういう方向に進むのか明確にしていただければいいと思う。

委員

満足度・重要度のスコア分類結果では、良くなっている部分とそうでない部分とが割と明確に表れてきている。

この中には、重要度が低くても満足度を上げる必要がある項目も多くある。これを我々の一つの目標項目に挙げていきたいと考えている。

タイプ I (重要度高・満足度低) がなくなっているのは、驚くべき結果で、喜ぶべきなのかどうか、まだまだ安心はできない。この結果を参考にしながら、その他の項目についても満足度を高められるようにしていきたい。

自由意見については、内容をしっかりと吟味し、行政としてどのような形で対応ができるのか、取捨選択をしっかりと、皆さんの意見を取り入れるところは取り入れたいと思っている。

委員	<p>満足度・重要度のスコア分類結果では、タイプ I (重要度高・満足度低)がなくなった。そして全体的に満足度が上がっている。住んで良かった町にだんだんと近づきつつあるのだろうと思う。ただこのスコア分類だけでは見えてこない部分もあるのではないかな。</p> <p>生活道路の整備と防災体制の項目で、平成25年、平成29年、今回と、少しずつ満足度は上がってきているが、地域により傾向が違うのではないかなと思う。王寺町は狭い町であるが、密集市街地と、新しい団地のエリアの方では、思いが違う。そのような地域特性も踏まえると、防災についても重点的課題になると思う。</p>
委員	<p>重要度・満足度のグラフで一番気がかりなのは「歴史文化遺産の保存と活用」。王寺町には、保存していかなければならない文化遺産が多くあるので、住民の意識をもう少し高めていただきたい。</p> <p>医療環境の満足度もあがっているが、これから先のことを考えると、西和医療センターが王寺への移転を実現できるかどうかで大きな差が出てくることを強調しておきたい。</p> <p>文化芸術活動の重要度も低いが、王寺町はいろいろな所で芸術活動も非常に活発、盛んなまちなので、それももっと伸ばしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>満足度・重要度のスコア分類結果で、タイプ I (重要度高・満足度低)は本当になくなったのか。救急医療体制とバリアフリー化は、比較的重要度が高く、満足度が低い項目であり、それは行政としての重点的に取り組んでもらいたい。</p> <p>地域活動への参加の項目について、コロナ禍で停止している活動もあった。参加したくてもできなかった方も多い。通常の生活に戻った時に、その項目だけでも、もう一度調査してもらいたいという気もする。</p>
委員	<p>地域活動への参加の項目について、「参加しなかった」と半分ほどあるのは、コロナの関係で活動できなかったことが一番大きな要因だと思う。もっとたくさんの方に地域活動への参加してもらえよう取り組んでいただきたいと思う。</p> <p>協働のまちづくり推進は、「推進すべき」「ある程度推進すべき」が多く、8割弱くらいあると思う。これについてはやはり必要なこととして取り組んでもらいたい。</p> <p>自由記述は、取捨選択するのがすごく大変だと思うが、細かく意見が出ているので、必要な項目には大いに取り組んでいただきたい。</p>

委員 注目したところは、町広報紙「王伸」を読んでいる方が約9割弱で、とても多くの方に読んでもらっていると感じた。魅力ある広報紙になっているので、これからもますます内容を充実させてほしい。  
町民が町のことを知ることは、町のことを好きになる第一歩だと思うので、これからもどんどん町の魅力や情報を発信して行ってもらいたい。

委員 「ゆりかごから墓場まで」という言葉があるが、「住み続けたいし、住み続ける予定」が81.3%と、王寺町はやはり住みやすいと改めて感じた。政令指定都市では、火葬待ちが平均5.5日、長いと10日前後待つことがあると聞いている。核家族化や単身化が進むにつれて、家や血縁者で支える仕組みが徐々に限界にきていると感じている。死に関する問題を非血縁者も含めて支え合っていく、行政や事業者も支援できる新たな社会基盤が必要であるのではないかと感じている。  
神奈川県横須賀市では、エンディングプランサポート事業に取り組み始めたと聞いている。生と死は表裏一体であり、地域でつながっていかねばいけないことだと思う。自らの死や、友人や家族の死から目を背けないで、超高齢化社会で多死社会、たくさんの方が死んでいくということを、私たちは真剣に考えないといけない。  
どう生きてどう死んでいくかは大きな課題であるので、ぜひ王寺町でエンディングプランサポート事業を立ち上げてもらいたい。

会長職務代理 インターネットと紙の回答が重複しないよう、どのようにしたのか。

事務局 返信用封筒に個別の番号をつけて、インターネット回答時に入力してもらうことで、重複がないことを確認した。

会長職務代理 アンケート回答者は、実際の住民の年齢構成とは違うと思うので、参考に実際の年齢構成データを掲載してもらいたい。結果を見る時に、高齢者側にシフトしていることを頭に置きながら見ないといけない項目もあると思う。家族構成についても国勢調査で王寺町の実際のデータがあると思うので掲載してほしい。

「大変住みやすい」の割合が年代が上がるほど減少しているが、普通は年代が上がるほど「大変住みやすい」が増える。なぜそうでないのかが気になる。知見があれば教えてもらいたい。

満足度・重要度の集計結果で、重要度スコア下位5項目とあるが、行政としてどう捉えるか。町民が重要と考えていないからしなくていいと町民の方に誤解されるとまずい。政策的には重要なことだが、アンケート結果として低かったという、その微妙な差をきちんと説明しておかないと、

大きな誤解を招く。総合計画に対してどのように反映させるのか、行政としての考え方を明確にしておく必要がある。

また、平成 29 年調査結果でタイプ I (重要度高・満足度低)について、「重点課題として検討が必要」とあるが、どのような検討をしたのか教えてもらいたい。

事務局

重要度スコアが低い項目については、その重要性を行政として、どれほど住民の方に広報できているのかということがある。アンケート結果の重要度が低いからといって必要がないわけではない。

PRして認識を深めていただくことが必要だと考えている。

タイプ I (重要度高・満足度低)の「重点課題として検討が必要」については、「救急医療」について、2年前に西和医療センターの中に病児保育の施設を設置した。そういう部分が子どもを持つ親世代の安心感につながっているのではないか。「バリアフリーのまちづくり」については、「バリアフリー化」の概念はあるが、この評価についてはしっかりと検証したい。「介護施設」については、町内に特養1つ、老健1つが新たに設置されたことが住民の安心感につながっていると考えている。

会長

確かに、タイプ I (重要度高・満足度低)のグループが消滅しておりすばらしいように見えるが、果たしてそうか眉に唾をつけて見ておかないといけない。満足度の基準をもう少し高いところに置く必要があるかもしれない。

直田職務代理の指摘は重要なことで、前回の調査と比較するため満足度・重要度を使った。前回調査の際にも、満足度はわかるが、重要度について、町民の主観的な重要度判断を認めていいのかという意見があった。

このような重要度の調査では、必要課題を何と認識しているか調べる必要があるが、結果として要求課題が出てくることがある。そうすると見事に「自分に関係のない」ことの重要度が低く表れる。

「人権啓発・人権教育」「雪丸の活用」「文化芸術活動振興」は、命に影響がないということかもしれないが、本当にそうなのか。それを再点検、再認識する分析手法が求められる。

「防災」は重要度上位になっているが、これをきちんとやっけていこうと思えば、「人権学習」が絶対に必要であり、「男女共同参画」もきちんとしておかないと「防災」対応もできるわけがない。

重要度の結果については、単に住民側が思っている重要度であり、この結果が正しいと受け止めないようしてもらいたい。

定住意向が上がっているというが、そのように変動する要素は何だったのか。私は要素が2つあるのではないかと思う。若い世代が、子育てしや

すいと思っている人が増えたことが一つ。そして都市プロモーションがうまくいって、都市イメージが上がってリターンしてきたこと。これは王寺町できちんと点検してほしい。

王寺町では、広報紙を読む人の率が非常に高い。普通の都市型の自治体で80%はありえない。これは非常にいいデータなので、なぜ高いのか検証したほうがいい。豊中市の広報課長だった経験があるが、当時広報紙を読んでいる人は多分5~8%だったと思う。王寺町は80%なので、広報紙に掲載すればかなりの住民に周知できる。80%は「異常」値だと思う。良いことは良いこととしてピックアップして強調する必要がある。

## 2. 地方版総合計画の改定について

資料2を基に国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略の考え方について事務局から説明

また、現行の委員に加え、新たにデジタル人材として町CIO補佐官を委嘱する。

会 長 総合計画と総合戦略について整理すると、地方自治法第2条第4項の規定が廃止され、総合計画は法定計画ではなくなっている。しかし王寺町では総合計画を最高上位計画として位置づけているので、この最高上位計画の秩序の中に下位計画は配列されなければならない。

最高上位計画である総合計画（基本構想・基本計画）と瓜二つの計画をつくらなければならなくなった。それが地方創生総合戦略をつくるようにという国からのお達しだった。

総合戦略の中身が、総合計画に書かれていることと重なり合うことが、全体の3割から4割だったので、総合計画に書かれていることをそのまま地方創生総合戦略に転記し、なおかつ移住促進など特徴的な項目については独自に書き加えるという作業をして、王寺町では第2期の総合戦略を策定した。

本来、地方自治に関することは総務省の所管だが、総合戦略の所管は総務省ではなく内閣府だ。これをつくったことの裏付けとして、特別地方交付税交付金がある。総合戦略掲載事業の実施について、国もバックアップする形になっている。

今回はその中にデジタルが入ってきた。国は4年にわたるコロナ禍を乗り越えていくためにデジタル化を間（インターネット）に入れて、そこからテイクオフしていきたいという国家戦略を持っている。それに応じた地方自治体の協力、共同歩調を求めているということだにご理解いただきたい。

この総合計画審議会（兼 総合戦略懇話会）は、総合計画と総合戦略を一緒に議論する役割を担っている。

事務局	<p>国がなぜデジタル化を進めているかという点、例えばデジタル化によって、日本全国どこの場所においても情報を入手することができ、仕事ができる環境が整えられる。日本中どこにおいても便利で快適な生活ができる社会の実現。それによって首都圏の人口集中を緩和していきたいという意図がある。そのような経緯で、デジタル化が総合戦略に入ってきたとご理解いただきたい。</p>
委員所見	
委員	<p>健康診断を受ける方の数が少ないので、増えるよう取り組んでいてもらいたい。救急医療について、夕方の6時から朝の8時までは、病院に専門の先生はほとんどいない。健康診断で身体の悪いところが分かったら、早期治療が可能となる。</p>
委員	<p>アンケートで10代が「大変住みやすい」と答えている割合が非常に高い、その理由が気になった。私も身近な10代の方と話をする時に、王寺町でどんなことがあったら嬉しいか話をしたが、私には考えられない答えが出てきたりする。やはり幅広い年代に聞くのは大事だと思う。今回の回答者は60代以上の方が過半数ということだが、幅広い年代に意見を聞くことで、いろいろな意見が出てくるのではないかと思った。</p>
委員	<p>本日やわらぎの手帳事業の受付が同フロアで行われている。まだ私はその事業の対象ではないが、免許を返納し、警察の証明があれば70歳でもバスのフリーパスをいただけるという情報を得た。広報紙でも得られない情報が多々あるので、コミュニケーションを図れるような場をたくさん作っていただければと思う。</p>
委員	<p>満足度・重要度のスコア分類だが、これを見て疑問に思ったのは、「防災体制」の満足度が高くなっているが、満足してもらえるような体制ができているのか、私は疑問だ。避難所に関しても、避難訓練も、本当に町全体としてできているのか。</p> <p>防災士ネットワーク会議と自治連合会とも連携しており、それぞれ地域ごとにやっていかなければいけないと思うが、それも十分できていない。ちゃんとやってくれているという印象をただ持っているだけで、まだまだできていないと思う。</p> <p>今後、人口は必ず減っていく。この先どういう仕組みでまちを運営していくのかを考えていかなければいけない。</p> <p>現在の総合計画には「地域自治協議会の仕組み作りを検討します」とどこまわっている。その前に「まちづくり基本条例の制定を目指し」とある</p>

が、すでに基本条例はできた。

その次は、まちづくり協議会をどのような形にもっていくのかを検討していかなければいけない。現在、町民ワークショップの回を重ねるごとに、住民の皆さんも徐々に認識をもっていただいているようにも思う。あらゆる層の人たちに参加してもらい、意見を集めて、王寺町にふさわしい体制、ふさわしい仕組み、どのような組織がいいのか、時間がかかると思うが、各界各層の人の意見を聞きながら、総合計画後期基本計画の素案をつくっていただきたい。

委員

アンケートで広報を見ている町民の割合が多いとのこと。30代～50代の子育てなどで忙しい方々にとっては、ポストに入っていた、ちょっと机の上に置いてそのまま忘れてしまうのが、通常だと思う。王寺町の広報紙は、子育てで忙しい人たちにも読みやすい様になっていると思う。また、「住みやすい」と答えている人が60歳70歳では低いのに「住み続けたい」では60代70代は多くなっている。これは王寺町で新興住宅地がかなり多いことも作用しているのではないかと思う。新興住宅地は山の部分が多く、坂道が多い。若い時は自然環境、車も使うし、坂も関係ないが、やはり年齢が高くなってくると坂道が、住みやすい部分が減ってくる。そういう部分でこういうデータが出ていると感じる。駅前地域と山に近い新興住宅地の部分とは、結果が全然違っているのではないかと感じた。

委員

総合計画の後期計画をつくっていくことになるが、総合計画は最上位計画だから、どの分野についても総花的に盛らざるを得ない。その中に地方創生総合戦略も入るということで、総合計画の実施計画をつくらないと実際どうしていくのかは見えてこないと思う。さらにその実施計画に基づき、予算の裏打ちの取れた様々な事業が紐づくことになる。アンケート結果はアンケート結果として整理し、総合計画の実施計画をつくる時にメリハリをつけて、どのような王寺町にしていくのか、ビジョンを明確にしていきたい。

委員

国のデジタル田園都市国家構想は、世界中どこにいても仕事ができるということが一つの目標だと思うが、デジタル関連で言うと、5Gの適用範囲は、王寺町では半分くらいのエリアにとどまり、全域カバーしていない。日本が遅れているのはハード部分ではないか。アメリカで高校教師をしている人が里帰りして帰ってきていて、アメリカのデジタル事情はどうか話を聞いた。高校の話だったが、アメリカでもリモート授業はコロナがあったからできたとのことだ。それまではアメ



リカの生徒もパソコン教室でパソコンを使っていたそうだ。コロナになってパソコンを一台ずつ生徒に配り、家庭も Wi-Fi 環境を整えた。また、先生は慣れている先生と慣れていない先生がいて、結構混乱したと言っていた。日本と一緒だと感じた。

どういう仕事にデジタルが使えるかを整理し、必要に応じてやっていくのが正解ではないかと思う。

会長職務代理 アンケートにインターネット回答の年代のグラフがあるが、このグラフは大変重要だと思う。回答者全体では 60 代以上が半分以上だが、インターネット回答では 60 代以上は 20%にも満たない。インターネット回答の年代構成で分かるように、意見を伺う時の手段にかなり工夫をしないと、意見が偏り、それで行政を進めると若い層から見放されることになりかねない。今回インターネット回答がなければ、全体の回答者の 60 代以上の比率は 6 割以上であったのではないか。非常に重要なポイントだと思う。

これからの計画づくりにおいては、要求課題と必要課題を整理しながら意見を聞くことが大事だと思う。どうデジタルを使うか、若い人はアイデアを持っていると思うので、そういう意見を生かしていただきたい。総合戦略については、誰でもがデジタルの恩恵を享受できる環境の実現に向けて作業をしていくことが大事ではないかと思う。

会 長 地域のリーダーが出てこないという話があった。これは王寺町に限ったことではないが、王寺町は今がチャンスなのかもしれない。

町内会・自治会の組織率が 40%を切っているような神戸市では、阪神淡路大震災の後に総合型住民自治協議会(まちづくり協議会)をスタートしながら、26 年経っていまだに組織できない状態だ。ところが、昔からの町内会の組織率が 99%だった大阪市は、平成 24 年から 25 年に完全に完成してしまった。町内会・自治会が頑張ってくれているうちがチャンスだ。町内会・自治会が壊れてしまってから総合型住民自治協議会(まちづくり協議会)と言っても誰もやらない。王寺町はそういう意味でアドバンテージがあるから、まちづくり協議会の検討は急ぐべきだ。

まちづくり協議会を組織化しようとする、男女共同参画社会の認識、人権の認識、防災への啓発、個人情報保護と近隣社会での顔と名前が分かり合える人間関係の維持とのバランスのとり方、これを身につけていただく生涯学習が必要となる。そのような知見もなく、中高年の声の大きい人ばかりの独壇場になってはいないか、というのが生涯学習への私の批判だ。強い高齢者のお楽しみ場になっていないか。新しい若い人、子どもたちが参加できるようになっているか、行きにくい、入りにくい

ことになっていないかを、見直す必要がある。

施策の重要度をアンケート結果からどのように読み取るか、どのように政策に反映するかという指摘が何人かの委員からあった。このままでは読み取るのは難しく、クロス集計をかけないといけない。多変量解析の話になるが、仮想数値をいれて多元連立方程式を解かないといけない。これを読み解くために、コンサルタントと協議しながら想定を立ててみる必要があると思う。

政策を形成する中で一番大事なのは、複合効果が高い政策を優先すること。他の政策への影響が大きい政策の分析。また、職員間の意思疎通が高まるほど政策の有効性も高まることが正しいかどうか、一度検証してほしい。

また、公民協働について、少し記述を足す必要があるのではないか。防災、防犯、地域福祉等の観点から地域の協力で成果が高まる分野があるので、それに関する着眼点をもう少し強い形で記載してはどうか。

さらに、専用施設、専門の施策の中に、もっと多元的な参加を求めてもいいのではないか。障害者専用施設は障害者だけでよいのか。「健常者」がもっと交流して入って来ることを求めて良いのではないか。高齢者・障害者の施設にもっと文化行政のエキスを注ぎ込む必要はないのか、障害者のためのアートの実習なども考えていく必要がある。

これからの時代の方策として「複合効果の高い政策を優先すること」、そして「職員間の意思疎通」「公民協働のさらなる開発」。最後に「縦割り・専門行政を横割り・多次元化に設計しなおす」ことが重要である。

高齢者専用施設だから一般市民の文化活動に使えないと言っている時代ではない。障害者専用施設ももっと開かれたものになっていく。学校教育ももっと開かないといけない。文科省もコミュニティ・スクールを求めている。スポーツクラブ、文化クラブのリーダー、指導者を地域社会にお願いすべきと文科省も言っている。

最後に、この回答数(934件)これだけ(592件)自由意見が出てくるアンケートは珍しい。それほど王寺の人はアクティブなのだろう。

### 3. その他

- ・今後の審議内容及びスケジュールについて 事務局説明

閉会

以上